

# 金山伝言板



**桜の種類 13種類**  
**桜総本数 約320本**

【桜マップのご注意】  
 ＊桜マークの場所に桜があります。参考にして下さいね。  
 ＊まだまだ植栽したばかりの小さい桜が多くありますので、長い目で見守って下さいね。

# 桜 まっぷ

園内で見られる桜の情報をご紹介します♪

第132号  
 発行 金山総合公園  
 編集 園長 三田芳夫  
 太田市長手町480  
 TEL 22-1448  
[http://gunma-](http://gunma-kodomonokuni.jp)  
[kodomonokuni.jp](http://kodomonokuni.jp)

こどもの国では一昨年に81本、昨年は30本と桜の植栽が行われ、現在の総本数がおよそ320本となりました。さらに今年に入り30本のカワツザクラが追加で植栽決定となり、約350本の桜が見ることができるようになります。園内にある桜の種類は13種類。そのうちの8種類をピックアップしてご紹介します。桜といっても色も花びらの枚数も様々です。春と秋2回咲く桜もあること、香りがある桜もあること…など意外と知らないこともあるかもしれません。皆さんは知ってましたか？園内全てではありませんが、それぞれに名前を書いたプレートが付いていますので、ぜひ桜マップを片手に見比べてみて下さいね。

<p>見頃 2月下旬～3月上旬</p> <p><b>カワツザクラ</b></p> <p>早春に咲く桜 比較的長い間咲いています</p>	<p>見頃 3月上旬～3月下旬・10月下旬</p> <p><b>オオサカフユザクラ</b></p> <p>春と秋の二度咲きます 花びらの枚数は多め</p>	<p>見頃 3月中旬</p> <p><b>ヨウコウ</b></p> <p>大輪で色も濃い目 早春を彩ります</p>	<p>見頃 3月中旬～3月下旬</p> <p><b>シダレザクラ</b></p> <p>枝垂れの定番の桜 花も下を向いています</p>
<p>見頃 4月上旬</p> <p><b>芳香あり オオシマザクラ</b></p> <p>散る際に中心部が赤く色付きます</p>	<p>見頃 4月上旬</p> <p><b>ソメイヨシノ</b></p> <p>定番の桜ですね 日本を象徴する栽培品種</p>	<p>見頃 4月上旬</p> <p><b>オモイガワ</b></p> <p>枝いっぱいにつきます エドヒガン系の栽培品種</p>	<p>見頃 4月中旬</p> <p><b>シロタエ</b></p> <p>咲き初めはほんのりピンク 満開になると白色に変化</p>

### 金山歴史山歩 金山の野鳥たち②



今回の金山歴史山歩は「金山の野鳥たち②」です。参加者22名、スタッフ5名の合計27名で、こどもの園内をじっくり見て回るコースでした。エントランス広場から出発し、野鳥の森の方へ向かいます。途中の下溜池から湿生植物園の辺りで、列が間延びして、2組に分かれたようになっています。

先行した組は、上溜池でオシドリとベニマシコを、野鳥の森ではルリビタキがムカデを食べる姿をじっくりと見ることが出来たと喜んでいました。

後続の組は、湿性植物園でカシラダカとベニマシコ、上溜池ではオシドリをゆっくりと見ることが出来ましたが、残念ながら野鳥の森のルリビタキは見逃してしまいました。

最後は全員で、工房前の東屋で鳥合わせをしてみるとオシドリ・マガモ・カルガモ・コガモ・ホシハジロ・キジバト・カワウ・アオサギ・オオタカ・コゲラ・モズ・カケス・シジュウカラ・ウグイス・メジロ・シロハラ・ツグミ・ルリビタキ・ジョウビタキ・スズメ・シメ・ベニマシコ・ホオジロ・カシラダカ・アオジなどの合計28種が見られました。

参加された方から「公園の中だけでも、ずいぶん鳥の種類が見られるんですね」というお言葉もあり、楽しんで頂けたようでした。

記事担当：金子



## 1500万人達成記念特別企画 《有料遊具無料開放》 ご来園ありがとうございました!!

昨年12月から今年の2月にかけての3カ月の間に「1500万人達成記念特別企画」として有料遊具無料開放を計3日間実施をしました。寒さの厳しい時期での実施でしたが、サイクル広場での乗物やパノラマチェア・サマーボブスレーを大勢のお客様に楽しんで頂きました。元気の良い子供たちは何回も繰り返し乗っており、サイクル自転車の運転やサマーボブスレーの操作が上手くなったように思います。次回の有料遊具無料開放は〈5/5こどもの日〉です。楽しみにして下さいね。

記事担当：佐藤(晴)

### 3月イベント情報

- 4日(土) ・かざぐるま教室
- 5日(日) ・森の小さな動物たち ・マジック戦隊MCO
- 8日(水) ・自然観察会
- 11日(土) ・紙ヒコーキ教室
- 12日(日) ・自然と遊ぼう ・スバルふれあい教室
- 18日(土) ・金山歴史山歩
- 19日(日) ・コースターを作ろう
- 22日(水) ・自然観察会
- 25日(土) ・エコキャンドル
- 26日(日) ・森の小さな動物たち

### ぐんまこどもの国 里山コラム Vol.12



#### 春の探し方 記事担当：羽賀

2月も終盤になると春の訪れを感じるようになりました。去年も「香りで春を感じる」的な文章を書いた記憶がありますが、春の香りが日々濃くなってきている今日この頃です。

ということで、今回はこどもの国の春を探してきました。季節の変わり目で、生き物たちも「冬眠から覚めようかどうしようか？」と微妙に判断に迷っているこの時期は「条件の差異」で変化に差が出てきます。そんな「条件の差異」が自然観察の面白いところです。

では、春を探すときのポイントとしては、どのように探すのが良いのでしょうか？それは、もうきつとお分かりですね、前述の「条件の差異」がポイントになってきます。

春先に一番影響を与えるものとしては、日照条件があります。日本は北半球なので南の日光が照射される部分は早く春が訪れます。実際にタチツボスミレなどのスミレの仲間、春先に草むらでお花畑を作るホトケノザやオオイヌノフグリ、ナスナ(ぺんぺん草)、セイヨウタンポポなどが開花を迎えています。

草むらもそうですが、極端に変わるのが森林と草原の境目によくあるタチツボスミレです。南斜面(南の日光が当たる斜面)では、すでに開花していますが、北斜面(北向きで日光照射が弱い斜面)は葉っぱも出ていません。

南向きのペランダのほう洗濯物はよく乾くように、自然界でも日照条件というのは重要な役割があります。特に春先に出てくる植物は芽を出してから1か月という短い期間に日光を浴びて実までつけなければならぬため、特に敏感です。

自然観察をするうえでその場所の日照条件の良し悪しを考えて行くと、もっと生き物と出会いやすくなるかもしれませんね。



編集後記 担当：野村

最近春の気配をそこかしこに感じますね。陽も大分ながくなり、花の蕾もふくらんできました。今回の132号でも表面では桜特集、裏面では春の探し方コラムと園内の春を存分に味わえる内容となっております。参考になれば幸いです。